

スケール 1/43

#12011

刊行物

03/2020

制限333個



かつてのヴァイヒンゲンの誇り

1924年、ヴァイヒンゲン市長が議会で、新しい消防車の必要性を調査し、それを作成して市と周辺の町に役立てるための資金を承認しました。シャーシの長さ、エンジンのサイズ、搭載する機器のリストなど、多くの技術的側面が議論されたことは間違いありません。最も重要なことは、そのような市民の車の購入のための資金計画が必要でした。ヴァイヒンゲンとその周辺のコミュニティがリソースをプールして31,360.90マルクを集めたことを示す歴史的記録が見つかりました。その集められた資金で、ドイツの会社ベンツ-ガッゲナウから新しい消防車が購入されました。

市の有力者たちは、40馬力のエンジンを搭載したベンツタイプ2 CSNシャーシの購入を選択しました。トラックは、市職員が提供する詳細な仕様に従って設計および組み立てられました。エンジンは、必要に応じて作動できる強力なトランスミッションで接続された3段の中央ウォーターポンプを駆動しました。トラック本体の後部に大きなホースリールがあり、本体の側面に木製の

はしごが運ばれました。必要なすべての消防用具と11人の消防士を追加すると、車両の総重量は合計2.5トンになりました。わずか40馬力で、ベンツ消防車は50 km / hの最高速度を達成するのに苦労しました。

1925年6月3日、ついにヴァイヒンゲン消防隊に新しい消防車が納品されました。正式には「AutomobilispritzeBenz-Gaggenau」(消防隊ベンツ-ガッゲナウ)として指定され、明るい赤に塗られ、第二次世界大戦まで活躍した防火協会の誇りとなりました。最後に活躍した消防署は、コーンヴェストハイムにあるサラマンダーの消防隊でした。現役の最後の任務は、古いベンツ2 CSNがウィネンデンの消防署博物館に引退したときでした。今日まで、それは展示されており、訪れるすべての人に賞賛されています。それは、本当に長い間過ぎた時代の精神を反映しています。車両に屋根はなく、当時の消防士は寒暖、風雨に耐えました。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de